

教科	科目	課題内容	提出期限
国語	現代文	<p>①『論理的に読む 論読 現代文1』 P34～P47（第11回～第15回 100字要約 語彙プラス含む）。採点までして理解を深めた上、休業明提出。 ※1週間当たり2回分を目安に解き進めてください。 ※別冊の要約ノートはやらなくて結構です。</p> <p>②『意味から学ぶ 頻出漢字3000』 P2～P25（ステップ①全12回分）の確認テストの受験。 ※Classroom上で実施します。各自確認してください。</p> <p>③『意味から学ぶ 頻出漢字3000』 P26～P45（ステップ②全10回分）の学習。 ※②同様に、Classroom上で確認テストを実施します。</p>	
国語	古典	<p>①『これでわかる 明解古典文法 必修ノート』 P14「形容詞」～P19「用言の総合」 採点までして理解を深めた上、休業明提出。（『これでわかる 明解古典文法』の対応ページを参考にしながら解くこと。） ※解説動画を配信するので、ノートを取るなどして理解を深めてください。Classroom上で確認テストを実施します。</p> <p>②郵送プリント『用言の総合』（B4両面刷り×2枚） 採点までして、理解を深めること。</p> <p>③『新明説漢文ノート』 P4「熟語の構造」～P11「書き下し文の作り方」 採点までして理解を深めた上、休業明提出。（『新明説漢文』の対応ページを参考にしながら解くこと。） ※解説動画を配信するので、ノートを取るなどして理解を深めてください。Classroom上で確認テストを実施します。</p>	
数学	数学Ⅰ	<p>①教科書の予習 第1章 P22、p33、p43～45 第2章 ～p63までの練習問題全て、p64～66 以上の問題をルーズリーフやレポート用紙で提出。 授業は1章からスタートしますが、p66までは予習済みであることを前提にします。</p> <p>②4/17実施予定だった到達度チェック（問題と解答を今回送りました） ・ルーズリーフやレポート用紙で提出。 ・やった日と時間を記載すること(例：4月29日 15:00～15:25)。</p> <p>①・②に共通して ・言うまでもありませんが、計算過程を必ず記述すること。 ・不明点や質問がある場合は1年次相談日に対応します。</p>	最社
英語	コミュニケーション英語Ⅰ	<p>①『LANDMARK予習ノート』を使ってLesson 2 (pp.13～21)の予習をしてください。各パート左ページにある新出単語の“文中での意味”を調べ、その後右ページの各問題に答えてください。その際、Google Classroom上でLesson 2の解説スライドを見ながら取り組んでください。 また、勉強を終えたのち、Google Classroom上に掲載される課題テストを各自“印刷して、紙ベースで”受験してください。テストは学校再開後に提出をしてもらいます。</p> <p>②Bricks2単語帳 番号197～300（第3回）と番号301～396（第4回）を勉強してください。勉強を終えたのち、Google Classroom上のフォームで、同範囲2回分の単語テストを受験してください。</p> <p>-----</p> <p>※基本的な考え方として、前回と今回の課題範囲分は、授業再開後に戻って復習する予定はありません。そのため、解説資料としてスライドを掲載しています。スライドを見ていない生徒もいますが、授業だと思って必ず勉強してください。なお授業再開後は、「スライドの内容が一通り理解できているもの」と考え、進めていきます。理解できなかった部分については、いつでも「質問コーナー」から質問をしてください。</p>	

教科	科目	課題内容	提出期限
英語	英語表現Ⅰ	<p>①『Breakthrough English Grammar in 36 lessons』Lesson9(助動詞1)pp.26-27、Lesson10(助動詞2)pp.28-29、Lesson12(受動態1)pp.34-35、Lesson13(受動態2)pp.36-37に取り組んでください。その際には、Google Classroom上で同範囲の解説スライド(4つ)を見ながら勉強してください。</p> <p>②①と同範囲のワーク『Breakthrough English Grammar in 36 lessonsワークブック』にも取り組んでください。ページ数は以下の通りです。pp.20-21、pp.22-23、pp.26-27、pp.28-29。</p> <p>③上記2つの勉強を一通り終えた段階で、Google Classroom上に掲載される課題テストを各自“印刷して、紙ベースで”受験してください。テストは授業再開後に提出をしてもらいます。</p> <p>上記範囲には新出分野もありますので、「Breakthrough総合英語」のとりわけp.150以下を必ず参照しながら取り組むようにしてください。わかりやすい解説が載っています。</p> <p>-----</p> <p>※基本的な考え方として、前回と今回の課題範囲分は、授業再開後に戻って復習する予定はありません。そのため、解説資料としてスライドを掲載しています。スライドを見ていない生徒もいますが、授業だと思って必ず勉強してください。なお授業再開後は、「スライドの内容が一通り理解できているもの」と考え、進めていきます。理解できなかった部分については、いつでも「質問コーナー」から質問をしてください。</p>	
地歴	世界史A	<p>B4版の両面刷りプリント</p> <p>①No.000 ガイダンス世界史A2020 (1枚)</p> <p>②産業革命(教科書p.92)～ウィーン体制(教科書p.107)の範囲の授業プリントを完成させる。</p> <p>2・4～6・8組(担当:武蔵・能勢)は、7枚</p> <p>1・3・7・9組(担当:西脇)は、10枚</p> <p>枚数は違いますが、相談しながら同じ範囲をカバーしていますので心配ありません。</p> <p>*どちらも自力で教科書や資料集を参考にして全て穴埋めをして、臨時休業明けの最初の授業日に提出。(変更する場合にはGoogleClassroomで告知します)成績に加味するものなので、しっかりと取り組むこと。</p>	1回目の授業
公民	現代社会	<p>今回は授業内容のプリント(No.3)と論述の課題です。</p> <p>プリント(No.3)はクラスルームに掲載しますので、プリントアウトして解答するか、解答のみをノート、ルーズリーフ等(サイズは問わない)に解答してください。</p> <p>課題は「日本国憲法について、護憲派の考え方、改憲派の考え方の良い点、問題点を簡単にまとめ、あなたの考えを述べなさい。」です。</p> <p>解答用紙(A41枚)は来週郵送されるものに、同封しますのでそちらに記入して下さい(確認のためPDFで掲載しておきます)。</p> <p>【提出については6/1以降の登校日を考えています、詳細はクラスルームに掲載します。】</p> <p>なお、「憲法」と「9条自衛隊」という資料動画(NHK制作)をアップしましたので、参考にして下さい。</p>	
理科	化学基礎	<p>1.Classroom上で動画学習と確認テストを実施します。5月11日までに受験して下さい。今後もClassroom上で確認テストを実施します。</p> <p>2.理解度確認問題(物質の構成)[提出用]プリント1枚、解答1枚</p>	1回目の授業
理科	物理基礎	<p>課題(次に示す①～⑤の順番の通りに進めてください)</p> <p>①累乗と指数の復習</p> <p>1.教科書P258～259、「D:累乗と指数」を熟読し、「問5～6」を解き、自己採点をする。</p> <p>教科書の解答は巻末にあります。</p> <p>②ルートの開き方の練習</p> <p>1.セミナーP138～139、「10:ルートの開き方」を熟読し、「問1～4」を解き、自己採点をする。</p> <p>2.プリント「〔3〕平方根の計算」を解き、自己採点をする。</p> <p>③瞬間の速さ、平均の速さ、x-tグラフ</p> <p>1.GoogleClassroomの動画、「物理基礎1」を受講し、レポート用紙にまとめる。</p> <p>2.教科書P6～7、「A:速さ」を熟読し、「問1～2」を解き、自己採点をする。</p> <p>3.プリント「〔4〕平均の速さと瞬間の速さ」を解き、自己採点をする。</p> <p>4.ステップアップノート物理基礎P10～11「問10、問13」を解き、自己採点をする。</p> <p>5.セミナー物理基礎P6「問1～2」、P7「基本例題1」、P8「問8～9」を解き、自己採点をする。</p>	1回目の授業

教科	科目	課題内容	提出期限
		<p>④合成速度と相対速度、等速直線運動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.GoogleClassroomの動画、「物理基礎2」を受講し、レポート用紙にまとめる。 2.教科書 P7～12の12行目までと、P14を熟読し、「問3～8、問11～12」を解き、自己採点をする。 3.プリント「〔5〕等速直線運動と速度」、「〔6〕速度の合成と相対速度」を解き、自己採点をする。 ※「〔7〕平面運動の速度の合成と相対速度」はまだ解きません。 4.ステップアップノート物理基礎 P10～11「問11、問12、問14～15」、P12～13「問16～19、問21」を解き、自己採点をする。 5.セミナー物理基礎 P6「問3～5」、P7「基本例題2」、P8～9「問10、問12」を解き、自己採点をする。 <p>⑤加速度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.GoogleClassroomの動画、「物理基礎3」、「物理基礎4」を受講し、レポート用紙にまとめる。 2.教科書 P17～28を熟読し、「問13～16、例題2、類題2、例題3、類題3」を解き、自己採点をする。 3.プリント「〔8〕加速度と等加速度直線運動(1)」、「〔9〕加速度と等加速度直線運動(2)」、「〔10〕加速度と等加速度直線運動(3)」を解き、自己採点をする。 4.ステップアップノート物理基礎 P14～15を解き、自己採点をする。 5.セミナー物理基礎 P6「問6～9」、P8「基本例題3」、P9～10「問15～21」、P11「発展例題2」、P12～13「問23～26」を解き、自己採点をする。 	
数学	数学 I	<p>追加・変更点は太字になっています</p> <p>①教科書の予習</p> <p>第1章 P22、p33、p43～45</p> <p>第2章 ～p63までの練習問題全て、p64～66</p> <p>第3章 ～p85までの練習問題(練習15まで) 全て</p> <p>以上の問題をルーズリーフやレポート用紙で提出。</p> <p>授業は1章からスタートしますが、p85までは予習済みであることを前提にします。</p> <p>②4/17実施予定だった到達度チェック(問題と解答を今回送りました)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーズリーフやレポート用紙で提出。 ・やった日と時間を記載すること(例:4月29日 15:00～15:25)。 <p>③追加プリント</p> <p>5/11より月曜日にclassroomにプリントを5枚ずつアップしますので、それをルーズリーフやレポート用紙にやって提出。</p> <p>金曜日に解答のみ(解説は載せません)アップします。</p> <p>①・②・③に共通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言うまでもありませんが、計算過程を必ず記述すること。 ・ルーズリーフやレポート用紙のサイズは問いません。 ・不明点や質問がある場合は1年次相談日に対応します。 	
総合	課題研究	<p>ワークシート1枚(A4両面印刷)</p> <p>自分の興味関心のある事柄、現代社会における様々な課題や問題を見つけ、自分たちなりに解決策を考えていく課題研究に取り組みます。</p> <p>今回は例として、世界的な共通課題である『持続可能な目標(Sustainable Development Goals)』について考えます。これからの社会を持続可能で、よりよいものにするためにはどうしたらよいかを考え、レポートにまとめます。</p> <p>課題の手順についてはワークシートに書いてあるので、よく読んで取り組んでください。次の登校日にて提出です。</p> <p>参考URL https://sdgs.tv/tg_mov/sdgs https://sdgs.tv/</p>	次の登校日